

2024年度第1回 開志専門職大学情報学部 教育課程連携協議会 議事録

1. 日 時 2024年9月3日(火) 14:00~16:00
 2. 会 場 米山キャンパス Y306
 3. 出席者 三上委員長、上野副委員長、柄沢委員、木田委員、黒田委員
中野委員、新飯田委員、原田委員、山田委員
淡路学務課長・社会連携推進部長、宮本学務課員
 4. 会次第
 - 1) 開会の挨拶 三上委員長
 - 2) 出席者挨拶(近況ご紹介)
三上委員長から座席順に近況報告をおこなった
 - 3) 前回議事録の確認
三上委員長より、委員全員に内容確認がおこなわれた
 - 4) 情報学部について
 - (1) 令和6年度の募集状況について
事務局淡路より、資料5に基づき退学者の状況について報告された
退学理由の内訳は、「授業(情報)についていけない」が主な理由だったが
ここ2年程は「情報系は収入が良いと思って入学したがそもそも情報に興味
がなかった」という理由が増えている。
定員充足については、80名の定員のところ志願者は78名。合格者は64名
で最終入学者は47名となった。
現在320名定員のところ233名の在籍
- 中野委員：
メンタルの不調での退学者が増えているようだが、合理的配慮について状況
はどうか？
 - 淡路：
2名ほど申し出があった
 - 黒田委員：
2年連続で定員割れしているようだが、中国等海外の留学生を検討してみるの
はどうか？
 - 三上委員長：
日本語学校で勉強している中国人等は文系の学生が多い。理工学系の学生は
少ない。ミャンマーは日本語を学んで日本のIT企業を考えている学生が多い
 - 原田委員：
入学者数については一定の基準以上いなくてはいけない等あるのか？
 - 淡路：

定員の6割を切ると文科省から注意がされる

●原田委員：

就職実績等で入学者を獲得することはできないか？

●淡路：

「2024年度実就職率ランキング」で本学は全国11位。「就職に強い開志」として売り出したい。なおランキング150位中に県内大学は6校入っている

(2) 令和6年度の学部運営について

事務局淡路より、資料3、4に基づき旧カリキュラムと新カリキュラムについて説明がされた

今年4月から新カリキュラムとなった。大きな改正点として、旧カリキュラムではほとんどが必修科目だったが、必修科目を減らし、選択科目を増やす(67単位→96単位)ことで学生たちが興味がある授業を選びやすくなった
資料7に基づき基礎ゼミについて説明がされた

今年度から1年生対象に「基礎ゼミ」が開講となった。

1人の教員に3～4名の学生が配属。退学抑止にもつながる

●山田委員：

学生数が3～4名というのは妥当な数だと思いますが、逃げ道はないですね

●新飯田委員：

2年生でも履修できますか？

●柄沢委員：

逃げ道はないと言われましたが、基礎ゼミを逃げ道にしてもらいたいと思いいりました。2年生には基礎ゼミはありません

(3) 令和6年度の臨地実務実習について

事務局淡路より、資料8、9に基づき説明がされた

文部科学省「大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」において、申込み26校中優秀賞(3校)受賞。

受賞後のインターンシップフォーラムでは、多くの学校が2週間以上の長期の実習を履修となると実習中の研究や授業が進められないとのことだったが、受賞校はこのしくみ化ができている印象

資料10に基づき今年度の臨地実務実習について説明がされた

初年度の実習先はIT企業がほとんどだったが、近年ロボティクスなど物づくり企業が増えてきた

●黒田委員：

入学者を増やすのに出身校にOBを連れてまわったらどうか？

●山田委員：

御校の偏差値は？進路指導の先生は偏差値で選んでいると思う

- 三上委員長：
偏差値はでていない
- 中野委員：
専門職大学全体の入学状況はどうか？
- 淡路：
IU（情報経営イノベーション専門職大学）は定員を満たしている
- 新飯田委員：
日本の人口減になると留学生を入れる必要があるのでは
- 三上委員長：
日本語をきちんと教えてもらった日本語がわかる留学生を入学させる仕組みづくりが望まれる

(4) 令和6年度の就職状況について

事務局淡路より資料11に基づき今年3月卒業（1期生）の状況、資料12より2025年度卒の状況について説明された

- 上野委員：
補足として臨地実務実習先から内定のパターンがある
- 木田委員：
1社で内定を決める学生は多いか？
- 淡路：
今年度は1社で決めている学生が多い印象
- 山田委員：
県外就職先としてはどこが多い？
- 淡路：
ほとんどが首都圏

(5) 令和7年度カリキュラム改定について

事務局淡路より資料13、14に基づき説明がされた

今年度から新カリキュラムになったが、募集の1つとして「ゲームコース」を新設予定。※グループ校の新潟コンピュータ専門学校が好調なため
問題点としてゲーム系の科目を教えられる教員が本学にいないため、スクエアエニックスにサポートをお願いする予定

- 山田委員：
どこの大学にも同じようなコースがあるので他との差別化がないと難しいのでは？
- 三上委員長：
就職率等で差別化を図る予定
- 中野委員：
カリキュラムを高校の先生がみたときに難しそうとを感じるのでは？

●三上委員長：

確かに国際情報大学のカリキュラムはわかりやすい

●中野委員：

カリキュラムに教員の研究成果等をつけてみたら？

※次回（第2回）協議会 2025年3月7日（金）14:00～16:00 米山キャンパス 予定

以上